

2019年7月



社会福祉法人

# 香川いのちの電話

# 通信

第75号

相談電話

みみをかたむけなやみゼロ

FAX相談

むつんでいちばんしみじみ

087-833-7830 087-861-4343

(24時間年中無休)



高松港 写真提供 宮武則明

## 「どうぞよろしくお願ひいたします」

臨床心理士 北濱 雅子

初めまして。北濱と申します。今年度から継続研修の講師として参加させていただいています。「いのちの電話」は、研修体制がきちんとしており、何より相談員の方々の熱意によって成り立っているということを、かねてより伺っておりました。そうした研修会に参加することになり、とても緊張している自分がいます。

電話相談といえば私事なのですが、20年以上前、県のある機関で1年弱程の期間でしたが、相談員をさせて頂いた事があります。それ以前には他機関で相談業務の経験もあったので、電話相談のお話があった時には、「できるはず。」という気持ちで臨んだのを覚えています。しかし、直接会って話を聞く相談とは異なり、相手の見えない電話相談特有の枠組みや頻回にかけていらっしゃる方への対応等に戸惑い、勤務してすぐにどうしたらいいか途方にくれた時期がありました。できるはず、と臨んだ電話相談業務が全く出来ない不甲斐なさに加え、職場で空回りしている自分を感じていました。職

場に行くことも憂鬱だったなあとちょうど思い出したところです。(笑)

その時の自分が何とか電話相談を続けることができたのはなぜだろうと考えるのですが、同僚の方々と話し合うことができ悩みを共有できたこと、上司の皆様が困ったことに対して、その都度適切な助言を下さったことかなと思います。

忙しい中でありますながら、電話相談員のために事例検討の時間を設けて下さいました。それらによって私自身はどう聴いたら良かったのだろうと思い悩んだときに、考えるきっかけをいただき、目標が、少し見えたように感じたものです。電話相談員である自分も一人ではなく、支えられているのだという安心感を持つことができました。

20年以上たち、まさか自分が電話相談の研修に関わることになろうとは思ってもみませんでした。あの頃の同僚や上司を思い出しつつ、不十分ながら私自身も相談員である皆様に、ゆったり寄り添えたらいいなと考えています。

## 平成30年次 香川いのちの電話 受信・相談状況 (2018年1月1日～2018年12月31日)

相談総件数………8,817件(男性4,493件、女性4,324件)  
自殺を訴えた相談件数…1,262件(男性543件、女性719件)

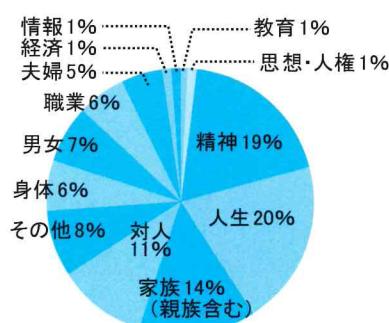
受信総件数………10,469件(無言で切れた件含む)  
着信(話中)件数………185,550件(受信したが話中で繋がらなかった件数)

開局からの電話受信・相談状況  
(1984年10月6日～2018年12月31日)

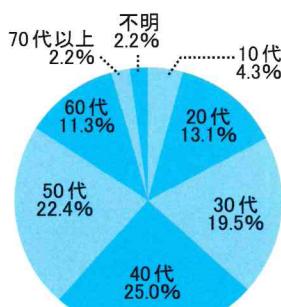
受信総件数…461,393件  
相談総件数…335,188件

### ●香川いのちの電話 受信状況

【内容別相談件数】

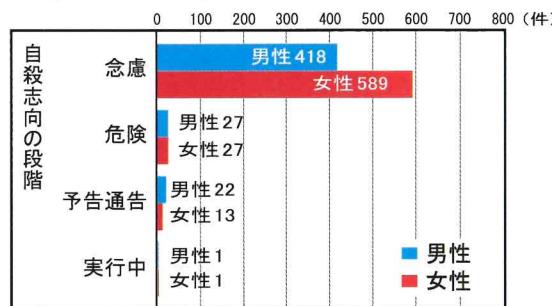


【年代別相談件数】

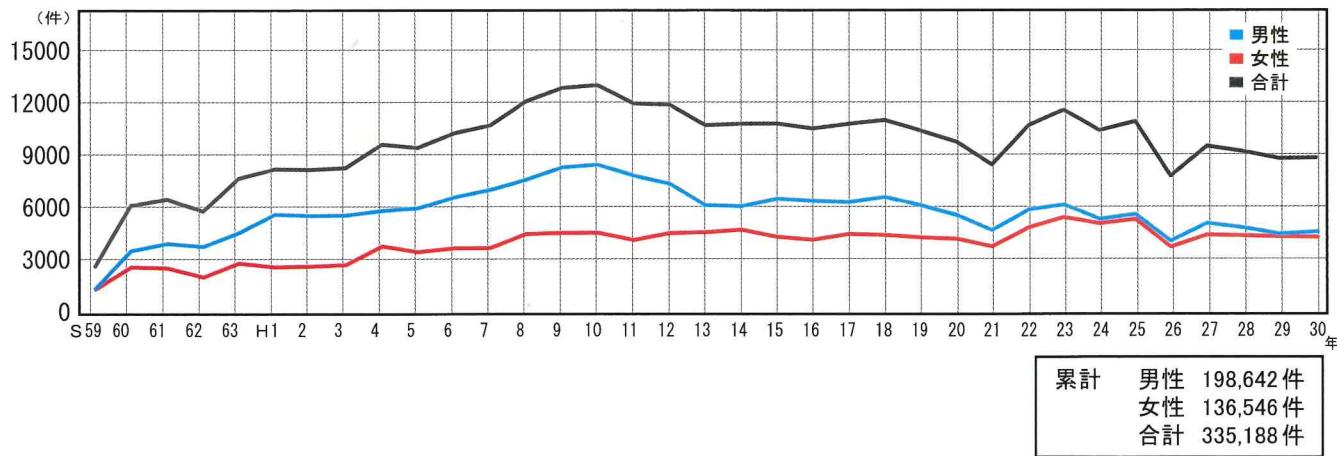


【自殺志向段階別相談件数】

自殺志向の総数を段階別に集計



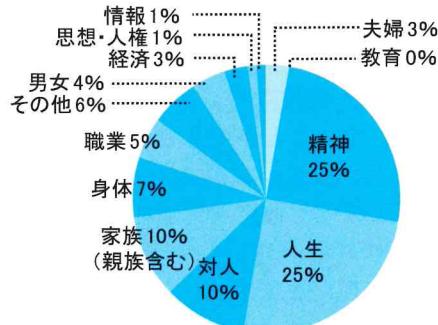
【年度別相談件数】



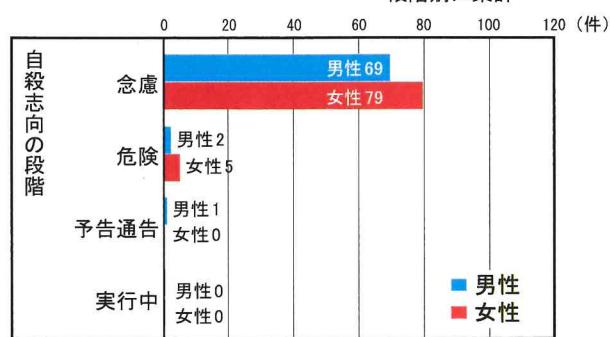
### ●自殺予防いのちの電話 受信状況(毎月10日のフリーダイヤル 受信状況)

相談総件数………648件(男性307件 女性341件)  
自殺を訴えた相談件数…156件(男性72件、女性84件)

【内容別相談件数】



【自殺志向段階別相談件数】 自殺志向の総数を段階別に集計



## 平成30年度事業報告 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

### ● 養成講座・研修活動

#### ● 第37期電話相談員養成講座

開講式 平成30年6月14日

養成講座 平成30年6月14日～平成31年3月28日

修了式 平成31年3月28日(修了者10名)

#### ● 全体研修会(第1回全体研修)…平成30年6月2日

テーマ 「ゲートキーパーについて」

講師 島津 昌代氏

#### ● フリーダイヤル研修(第2回全体研修)…平成30年11月30日

テーマ 「いのちの電話活動の活性化」

#### ● 公開講座(第3回全体研修) …平成31年3月16日

テーマ 「こころの声を聴く力

—いのちの大切さを共有する

講師 山根 基世氏(元NHKアナウンサー)

### ● 各種会議・委員会活動

#### ● 理事会・評議員会 平成30年度事業報告、決算報告 平成31年度事業計画、予算審議等

#### ● 運営委員会 随時

#### ● 班長会 随時

#### ● 7つの各委員会が活動

#### ● 中・四国いのちの電話事務局会議

…平成30年6月30日(土)～7月1日(日)

山口で開催

## 平成31年度 香川いのちの電話公開講座

### いのちの大切さに改めて気付く

山根基世氏(元NHKアナウンサー)の講演を拝聴して—

平成31年3月16日(土)13時からレクザム小ホールで、香川いのちの電話公開講座を開催した。テーマ「いのちの大切さを共有する」に沿って相手を思いやる言葉の大切さ、いのちの大切さについて、具体的な事例を交えながら、興味深く話していただいた。いのちの電話活動にも理解を示され、エールを送っていただき感謝でした。

当日のアンケートでの感想は、大変良かった—98人 良かった—52人、普通—4人 期待はずれ—7人、合計161人の方から回答を頂きました。そこでの意見としては「感謝と謙虚さを忘れないようにしたいと思いました」「良い人間関係を築くことは幸せな人生である。大変勉強になりました」というような前向きな感想の他「言葉は大切ですがそれ以外の根深い問題を解決しない限り救われません」等の意見も寄せられました。

相談員から、次のような感想が寄せられました。さすがは、元NHKアナウンサー、話術に引



**山根 基世氏**  
元 NHKアナウンサー

やまね もとよ プロフィール  
1948(昭和23)年、山口県生まれ。1971年、NHKにアナウンサーとして入局。  
最初の3年は大阪勤務。その後、東京、NHK放送センター、アナウンス室に異動。主婦や働く女性を対象とした番組、美術番組、経済報、ニュース、ナレーション多数を担当。2005年、女性として初のアナウンス室長。2007年、NHK 宮平退職。JIP「ことばの木」設立。2013年JIP「ことばの杜」解散後、地域作りと言葉教育を組み合わせた独自の活動を続けています。

**日 時** 2019年3月16日 土  
開場 12:00 開演 13:00

**会 場** レクザム 小ホール (香川県県民ホール)  
高松市玉藻町9-10 TEL 087-823-3131㈹

**登録料** 1000円(当日 1100円) お申込み、お問い合わせは裏面をご覧ください  
\*この講演会は、厚生労働省の自殺防止対策事業の一環として行われています。

思いつめずにいっしょに話そう 相談電話 087-833-7830

主催 社会福祉法人 香川いのちの電話協会 受理 香川県 / 高松市 / 朝日新聞社 / 読売新聞社 / 四国新聞社



平成31年度  
香川いのちの電話公開講座

手話・  
要約筆記が  
つきます

き込まれました。大きなキーワードは感謝と謙虚。他の人の意見を取り入れ、より良い自分になろうとすることは、巡りめぐって自分自身を幸せにする大きな手掛けかり。赤塚不二夫さんの逸話にはびっくりした。「相手の言いたいことをよく聞く」と言っていた。漫画から想像する彼とは全然違っていた。

そしてデール・カーネギーの人に好かれる6原則、良いことを教わった。

①相手に誠実な関心を寄せる…相手に関心を寄せることで相手もこちらに関心を寄せる。

②笑顔を絶やさない…笑顔は人の心を溶かすことが出来る。顔施。

③名前を覚える…名前は自分の分身、特別なもの。名前を覚えられると相手は重要感を持つ。

④聞き手にまわる…一身になって聞く。人は誰でも聞き手を欲しがっている。

⑤相手の興味を探る…聴いていると相手の興味の在りどころが分かる。人は自分に関心を持ってくれる人を信頼する。

⑥心から褒める…人間は勘が働く。人として自尊心が保たれる。安心感が持てる。

今、心を病んでいる人が多い。怒りを発生する芽。孤独が多い。自分の言葉を表現できない人が多い。パブリックスピーチングは出来ても隣の人と心を通わす言葉を表現できな

い。ボキャブラリーが少ない。それを言葉にできないと望む場所にも立てない。切れる。

その原因の一つが聞いてくれる人がいない事。

子どもの言葉を育てる活動に取り組んでいる意義の重要性を知らされた。

良い人生を送るのに何が大事か？良き人間関係を作る事。量より質。身体の健康にも大きく関わると。認知症予防にもなると。

聴くことで心穏やかに出来る。心から共感する＝愛→魂が救われる。いのちの電話の本質は愛。愛情は取り出し見せられない。日常のささやかな心の積み重ねの総体が愛。その人の心の声で聴くことが愛情のこもった聴き方になる。「発する気」が共感を生み慰められる。「感謝と謙虚さを持ち誠実に聴くと相手にも伝わる」事を胸に、今後も隣人の話を聴いていきたい。感謝 !!



## 令和元年度 香川いのちの電話 公開講座

予告

### 「声の向こうにある心 ～あなたは、ちゃんと見えていますか？～」

講師 岡田倫代氏 高知大学大学院教授

【日 時】 令和元年11月30日（土） 13:00～15:00

【会 場】 ミューズホール 香川県教育会館

【参加費】 1,000円（当日1,100円）

※詳細はチラシにて

又は事務局までお問い合わせください。



香川いのちの電話協会

第39期 電話相談員を募集しています

いのちを大切に生きるためのこころの支え手として、  
あなたもこのボランティア活動に参加しませんか

〔お問合せ〕 香川いのちの電話事務局 087-861-7065

## 資金収支計算書 (自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

(単位:円)

		勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入	事業収入 負担金収入 経常経費寄附金収入 受取利息配当金収入 事業活動収入計(1)	2,872,000 150,000 2,648,600 0 5,670,600	2,996,000 337,800 3,608,287 58 6,942,145	△124,000 △187,800 △959,687 △58 △1,271,545
	支出	人件費支出 事業費支出 事務費支出 事業活動支出計(2)	2,000,000 1,880,000 1,790,600 5,670,600	1,673,700 2,406,057 1,918,865 5,998,622	326,300 △526,057 △128,265 △328,022
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	943,523	△943,523
	施設による整備収支等	施設整備等収入計(4) 施設整備等支出計(5) 施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0 0 0	0 0 0	0 0 0
	(その他の収支活動)	その他の活動収入計(7) その他の活動支出計(8) その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8) 予備費支出(10)	0 0 0 0	0 0 0 —	0 0 0 —
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	943,523	△943,523
		前期末支払資金残高(12)	0	6,417,151	△6,417,151
		当期末支払資金残高(11)+(12)	0	7,360,674	△7,360,674

## 事業活動計算書 (自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

(単位:円)

		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	事業収益 負担金収益 経常経費寄附金収益 その他の収益 サービス活動収益計(1)	2,996,000 337,800 3,608,287 4,955,745 6,942,087	2,872,000 245,692 8,073,437 1,131,350 8,073,437	124,000 92,108 △1,347,458 △1,347,458 △1,347,458
	費用	人件費 事業費 事務費 減価償却費 (国庫補助金等特別積立金取崩額) サービス活動費用計(2)	1,673,700 2,406,057 1,918,865 590,625 △488,479 6,100,768	1,663,050 2,706,635 2,091,433 688,969 △488,479 6,661,608	10,650 △300,578 △172,568 △98,344 △560,840 △570,510
	増減の部	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	841,319	1,411,829	△570,510
	収益	受取利息配当金収益 サービス活動外収益計(4)	58 58	44 44	14 14
	費用	サービス活動外費用計(5)	0	0	0
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	58	44	14
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	841,377	1,411,873	△570,496
特別増減の部	収益	特別収益計(8)	0	0	0
	費用	特別費用計(9)	0	0	0
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	0	0
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	841,377	1,411,873	△570,496
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	2,758,203	1,346,330	1,411,873
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	3,599,580	2,758,203	841,377
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	3,599,580	2,758,203	841,377

## 貸借対照表 平成31年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			負債の部			
科 目	当年度末	前年度末	増減	科 目	当年度末	
流動資産	7,979,828	6,914,667	1,065,161	流動負債	619,154	
固定資産	28,125,277	28,715,902	△590,625	固定負債	0	
基本財産	28,125,275	28,715,900	△590,625	負債の部合計	619,154	
その他の固定資産	2	2	0	純資産の部		
				基本金	29,490,268	
				国庫補助金等特別積立金	2,396,103	
				次期繰越活動増減差額	3,599,580	
				次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	3,599,580 841,377	
				純資産の部合計	35,485,941	
資産の部合計	36,105,105	35,630,569	474,536	負債及び純資産の部合計	36,105,105	
					35,630,569	
					474,536	

平成30年度社会福祉法人 香川いのちの電話協会の理事の業務執行及び法人の財産管理・業務執行状況ならびに会計に関する財産目録、貸借対照表および収支計算書については、関連する法令および通知に従った監査の結果、事業の運営および会計上、適法・正確に処理されているものと認めます。

監 事 大 西 均  
監 事 河 村 弘 子

## わたしといのちの電話

### 相談員の声

私のいのち電話相談員としての活動は、今から18年前に始まった。

私はその頃、定年退職を2年後に控えていて、定年後も何か社会と関わることに携われたらと漠然と考えていた時に、偶然、新聞に「いのちの電話相談員養成講座」の記事を見つけ、その講座内容に魅かれて受講生募集に応募しようとした。しかし、当時は先ず、決められた3つのテーマから1つを選んで作文作成する必要があり、テーマがどれも簡単ではなく、結局応募を断念した。

が、翌年、なんとか作文を書き上げ応募した。その時の面接時での面接者の1人からの質問「いのちという言葉から思うことは?」は、今でも忘れられない。この問い合わせが、私のいのちの電話への関わりの第一歩であり、それから迷いながら、悩みながら、今まで電話の声に耳を傾けている。

いのちの電話は声をと通しての電話による相談であり、声だけが頼りのコミュニケーションである。

電話相談の中で、海は真っ黒んですよ。流れてきた木が身体に当たるんですよ。と淡々と話される方の声。電話を通して伝わる感情を含んだ生の声に、聴く側の心も揺すぶられ、動搖してしまうこともある。

ネットを通しての間接的なコミュニケーションが当たり前の現在だからこそ、この瞬間の生の声を通してのいのちの電話の存在は大きいと言える。その生の声を、どれほど聴けているのか?一体、我が事と受け止め寄り添えられているのか?

「今、何故、この時間に、どうしてここに」電話をかけていただいているのかを頭の隅に置いて、ひたすら耳を傾ける。匿名性の、一期一会の電話相談で出来る事は真摯に聴くことに尽きたと考えているが、その真摯に聴くことの難しさを、相談員としての年数を重ねるに連れて益々感じるようになって来ている。

相談員としての活動は後、数年だと考えている

が、その残りの数年も“声”を大事に真摯に聴き続けたいと思う。

(相談員 N・Y)

電話を取ると聞こえてくる声「ああ、やっと繋がった。」コーラーの声はホッとしているように聞こえる。その時、私も繋がってよかったと思える。誰かの役に立つことができる瞬間がそこにある。

いのちの電話の研修を受け始めた頃、何度か聞いたことがある。

「何故、相談員になろうと思ったのですか。」

悩んでいる人の役に立ちたいとか自殺する人をひとりでも救いたい。という答えが聞かれた。でも、私は、自分のことを知りたいと思っていた。

それから、5年過ぎようとしているが、先日とった電話で自分自身の感情に気がついた。コーラーの言葉を聞いて「ああ、そう。私のあの時の感情はこのことだったんだ。」と自分の気持ちがスープとしていくのを感じた。腑に落ちた、という感覚だ。初めての感情だった。コーラーの話の中で自分の内面に気づくこともある。今までモヤモヤしていた感情が理解できる。自分自身がコーラーとの関わりの中で支えられていることに気がついた。

もちろん、担当で対応したコーラーや継続研修での話し合いから学ぶこともある。

いのちの電話の活動を通して一方的にコーラーを支えているのではなく、ワーカーである私も支えられている。双方向的な関わりなのだと思う。

電話の終わりに「ありがとう。」と感謝する言葉をもらうと元気が出る。不思議な力である。電話を通して互いに人として得るものがあることに感謝してこれからも活動していきたいと思っている。

(相談員 J・Y)

## 支援者を訪ねて 30

元相談員  
Y・K 氏(2期生)



—こんにちは。本日は香川いのちの電話協会へわざわざお越しいただき、ありがとうございます。

まず、最初にいつも変わらぬご支援を頂いておりますこと、お礼申し上げます。

いのちの電話の元相談員だったということですが、どんなきっかけで、いのちの電話相談に関わるようになりましたか？

実は私は、仕事で電話相談窓口を開くことになった時、勉強をしなければと、香川大学、四国学院大学等に聴講生としていかせていただきました。同じころ、いのちの電話の講習があることを聞き、上司の勧めもあって受講しました。子供もまだ幼かったので、勉強だけと思い、参加させてもらったのですが、研修が終了したときに、研修班のメンバーから、一緒に相談員としてやろうよと誘われまして、相談活動をさせていただくようになりました。

—どのくらいの期間いのちの電話に関わられましたか？

10年程ですかね。いのちの電話に関わりました。仕事をしながらなので、きつかったです。

相談員活動は、夜間が多く帰りは夜中でした。でも、その時は、若かったし勢いで頑張りましたが、研修の成果を生かせたか、十分な聴く姿勢を保てたか、反省する点も多かったと思っています。

—お忙しい中、約10年間続けられた基は何でしょうか。

班研修があるでしょう、毎月。それが自分の勉強になったのが一番ですね。研修班の皆さんもいい方ばかりでした。事例等を出してそれを討議して、率直な意見も出しあえて、とても楽しかったですね。

—楽しいというのはすごいですね。継続の基本ですね。そこで退会されたのは？

そうですね。やはり家庭の事情ですね。又、仕事をしながらということもあり、精神的にも、体力的にもきつく感じることもありということですね。いつも、平常心でというのは、難しいですね。

—そうですね。本当にそう思います。ところで、ご主人様からもご支援を頂いておりますこと、あり

がとうございます。

どういたしまして。寄付をさせて頂くくらいしか支援できませんけれども。

—今、相談員が少なくなっていて、又24時間体制ということもあり、大変苦労しています。

そうですか。大変ですね。

—今、若い人が、昼間仕事があるため深夜帯のみ電話相談に入る人もいますがね。

私が相談員の時は、仕事をしている人はあまり多くはなかったように思います。私は39歳くらいで始めたのですが50代、60代の方が多くて昼間に担当に入る人が多かったです。

—時代とともに変わっていくのでしょうかね。今は何かされていますか？

仕事を辞めて10年程ですが、手仕事をするのが好きで、和裁をしたり、お習字をしたり、又パッチワークとかもやっています。韓国のパッチワークで、今それに熱中しています。その他にもいろいろとしています。

—充実していますね。ところで、いのちの電話の今後に何かご希望とかおありますか。

そうですね。わたしは、いのちの電話というところがあるということ自体が大切だと思っています。ぜひ、頑張ってください。

ある相談員研修での京大の石井完一郎先生のお言葉で、他人を思いやる気持ちは文明です（文化ではなく）と言われたのを覚えています。最近多くの犯罪がニュース等で放送されていますが、犯罪を犯した人のことを、たとえば「一人で勝手に死ねばよかったのに」などと切り捨てて終わるのではありませんに乱暴ですし、寂しい世の中だと思います。被害にあわれた人やそのご遺族のことを悼むのはもちろんです。犯罪は非難されるべきです。けれども良い方向へ、明るい方向へ伸びていけなかつたその人の状況にも何かしらの「つらいですよね」という人が誰かいてあげて欲しいと思います。

—そういう意味ではいのちの電話は、どこにも訴える処のない人の場所ですよね。

縁の下で支えている人は表には出てこないけれども、本当に大切な存在だと思います。

—そういうお言葉を頂きますと、相談活動をしているものとしてげんきがでます。ありがとうございます。今日はお忙しい中、本当にありがとうございます。

# § ご支援ありがとうございます §

平成30年4月～平成31年3月

香川いのちの電話にご寄付を賜りまして、心より感謝申し上げます。

## 団体

※敬称を省略しています

医療法人社団 一士会 平井病院  
 医療法人社団 ア歯会  
 株式会社アライアンス（自動販売機）  
 医療法人闇の会 大野内科 小笠原 望  
 延長寺  
 株式会社 香川銀行 本店営業部  
 カトリック屋形町教会 スペイン外国人宣教会 カンバラ神父  
 株式会社 兼子  
 公開講座寄付金  
 三和エコ＆エナジー株式会社

シコク環境ビジネス(株)  
 シャロームのつどい  
 菅原眼科医院 樋端 みどり  
 高松信用金庫 総務部  
 田代法律事務所  
 翼医院 小川 翼  
 とみおか内科クリニック  
 西高松脳外科内科 松本 義人  
 日本キリスト教団 高松教会  
 ハードテック(株)

 みくに園  
 屋島郵便局長  
 (有)ユービル企画

## 個人

※敬称を省略しています

秋山 知子	垣内 茂樹	斎藤 美智子	都留 子	正哲	原 久美子	尾丸	寛子	矢野	真知子
天本 正子	梶 由美	清水 和美	土居 幸生	幸生	日比野 好美	尾村	文典	山本	泰江
網 千代美	梶 正治	島津 昌代	岡田 邦義	愛子	廣田 玲子	岡村	俊定	行成	輝見
井上 ヒロミ	加島 和俊	曾我部 輝子	中川 阿	陽	福家 美津子	鍋屋	幸子	芳吉	紀子
井野川千代子	上岡 恒美	高田 安司	園	薰	藤井 郁子	眞鍋屋	宣明	村	崇彦
入江 栄子	河崎 素子	高橋 美也子	中村 静雄	子	藤野 典保	眞谷	直正	山	和江
今瀧 則夫	川田 行雄	高山 和則	中原 和恵	和恵	古澤 光子	沢	精博	井	辺匿
植田 中子	木内 将美	多田羅 淑子	長澤 真知子	惠	藤井 幹子	三溝	清美	上	泰江
上野 裕子	岸上 國恵	田中 幸子	田中 新田	弘生	福本 みゆき	渕上	宣秋	山	見
植松 信行	木村 幸二子	田中 幸子	中 西	暉彦	福家 棟貴	村	洋正	井	和名
大上 美智子	熊田 寿子	玉川 蓮恵	中 野	博文	本田 真知子	保	昌子	矢田	
大熊 利幸	鞍井 孝	千葉 正子	蓮 井	薰夫	前場 依子	矢野坂			
岡本 久美子	黒河内 美鈴	筒井 建策	谷 長谷川	和子	増井 武彦				
小畑 年子	近藤 小夜子			香織					



## インフォメーション

香川いのちの電話  
 「思いつめずに一緒に話そう」  
 電話相談 087-833-7830  
 FAX相談 087-861-4343  
**24時間年中無休**

## 自殺予防いのちの電話

フリーダイヤル **0120-783-556**  
**毎月 10 日**  
**午前 8:00 ~ 翌日午前 8:00**

## 「いのちの電話」はあなたの支援を必要としています

いのちの電話の活動は、多くの善意あるボランティアの無償の奉仕によって支えられています。眠らぬダイヤルの施設維持費、相談員研修費、広報活動など、年間1千万円の資金が必要となっています。ボランティア活動である「いのちの電話」は、それを支える財政的基盤は大半が市民の、あるいは企業や諸団体からの寄付で支えられています。ひとりでも多くの方に資金ボランティアとして関わってくださいますよう、お願い申しあげます。

【寄付金】 金額はご随意です。クリスマス、歳末など折にふれてご協力下さい。

## &lt;振込先&gt;

社会福祉法人香川いのちの電話協会  
 理事長 松岡 定幸

## 《お振込みは下記のいずれかをご利用下さい》

- ・ 香川銀行本店（普）1389129
- ・ 高松信用金庫本店営業部（普）4821464
- ・ 百十四銀行本店（普）1473589
- ・ 郵便振替1600-5-9348

## 宮武則明プロフィール（2006.6より写真提供者）

1941年高松市生まれ。写真家。著書に「讃岐の町並」他9冊(讃岐写真作家の会刊)「ふるさとを訪ねて」がある。現在「ギャラリーMON」(高松市朝日町)に年2回作品展に出品。「ふれあいえんざ」「香川いのちの電話」などで撮影活動中。高松市円座町在住。

## 発行所 社会福祉法人 香川いのちの電話協会

〒760-8691 高松市中央郵便局 私書箱152号

電話 (087) 861-7065

E-mail kind@tiara.ocn.ne.jp [HP] <http://www.kind-kagawa.org/>

発行日 令和元年 7月

発行人 松岡 定幸 編集 広報委員会 / 事務局